

しっかり焼けるまで待つ! 調理器具は使い分けて!



平成 29 年 8 月 9 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 31 週分・7 月 31 日～8 月 6 日)

※平成 29 年第 32 週分は 8 月 17 日 (木) 発行予定です。

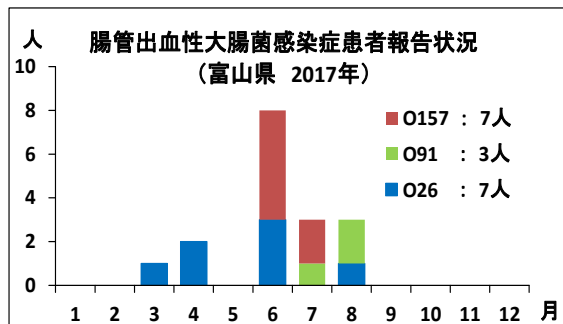
《 インフォメーション 》

●腸管出血性大腸菌感染症

県内の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、8 月 8 日現在で 17 人(前年同時期 7 人)となっています(図参照)。

腸管出血性大腸菌は、主に牛の腸にいる菌です。牛の糞などを介して牛肉やその他の食品・井戸水等を汚染します。菌が付いた食品を食べると 2 日から 7 日くらいで、発熱や激しい腹痛、水様性の下痢、血便、吐き気、嘔吐などの症状が現れます。特に抵抗力の弱い子供や妊婦、高齢者は、重い症状になりやすく、注意が必要です。

腸管出血性大腸菌等による食中毒を防ぐためには、生肉や加熱が不十分な肉の料理は食べないことが重要です。**生肉やレバーなどの内臓肉は内部まで十分に加熱してから食べましょう。** 次の事項に気を付けて、食中毒の発生を防ぎましょう。



- ①調理や食事の前、トイレの後は必ず手を洗う
- ②生肉やレバーなどの内臓肉は生・加熱不十分な状態で食べない
- ③まな板などの調理器具は、「加熱食材用」と「生食用」で使い分ける
- ④箸は「食べる専用」と「肉焼き専用」で使い分ける
- ⑤食材は調理までの間、低温(10℃以下)で保存する



**生肉に食中毒菌が
付いているかも!
よ~~~~く
焼けば大丈夫!**

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 3 件 (①第 30 週診断分: 80 歳代、男性 ②第 30 週診断分: 90 歳代、女性 ③30 歳代、女性)

三類感染症 細菌性赤痢 1 件 (40 歳代、男性、*S.sonnei*, D 群)

腸管出血性大腸菌感染症 4 件 (①第 30 週診断分: 30 歳代、女性、O157、VT1、VT2 ②③ともに 10 歳代、女性、O91、VT1、VT2 ④50 歳代、女性、O26、VT1)

五類感染症 後天性免疫不全症候群 1 件 (第 30 週診断分: 40 歳代、男性、AIDS)

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件 (80 歳代、女性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (第 30 週診断分: 80 歳代、男性)

梅毒 2 件 (①20 歳代、女性、早期顕症梅毒 I 期 ②40 歳代、男性、無症候)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	手足口病	13.21	11.52	↑
2 位	感染性胃腸炎	3.86	3.83	↑
3 位	ヘルパンギーナ	2.31	2.07	↑
4 位	R S ウイルス感染症	1.03	0.59	↑
5 位	流行性角結膜炎	1.00	0.57	↑
6 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90	1.07	↓

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第31週 平成29年7月31日～平成29年8月6日）

分類	疾患	今週報告分（第31週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	8	5	29	10	52	104
三類感染症	細菌性赤痢					1	1			1		2	3
	腸管出血性大腸菌感染症			3			3		2	6	1	7	16
四類感染症	A型肝炎							2				1	3
	デング熱											3	3
	レジオネラ症							4		6	1	8	19
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		4		1	6
	急性脳炎											1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	後天性免疫不全症候群									1		3	4
	ジアルジア症							2		1			3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			1	1	2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							4		3	2	17	26
	水痘（入院例）											1	1
	梅毒			1		1	2	1		4		3	8
	定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ			1		1	2	1,886	1,364	2,453	1,551	3,417
				0.08		0.06	0.04						
RSウイルス感染症				1	7	22	30	34	24	31	52	378	519
				0.13	1.75	2.20	1.03						
咽頭結膜熱		3	1	1		4	9	66	23	201	61	154	505
		0.75	0.33	0.13		0.40	0.31						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		3		22	26	107	40	675	224	583	1,629
		0.25		0.38		2.20	0.90						
感染性胃腸炎		24	8	8	2	70	112	1,094	723	1,123	511	2,497	5,948
		6.00	2.67	1.00	0.50	7.00	3.86						
水痘			1	3	1		5	6	31	71	30	111	249
			0.33	0.38	0.25		0.17						
手足口病		49	23	142	56	113	383	148	130	797	125	723	1,923
		12.25	7.67	17.75	14.00	11.30	13.21						
伝染性紅斑										5	1	17	23
突発性発しん		1		4	2	2	9	35	23	139	55	93	345
		0.25		0.50	0.50	0.20	0.31						
百日咳										2			2
ヘルパンギーナ		1	8	31	11	16	67	23	23	125	37	63	271
		0.25	2.67	3.88	2.75	1.60	2.31						
流行性耳下腺炎		5	1	7	2	5	20	150	62	403	76	347	1,038
	1.25	0.33	0.88	0.50	0.50	0.69							
急性出血性結膜炎									3	2		5	
流行性角結膜炎		1	4	2		7		3	212	18	5	238	
		1.00	2.00	2.00		1.00							
細菌性髄膜炎							1				1	2	
無菌性髄膜炎							1				3	4	
マイコプラズマ肺炎							9	2	13	8	16	48	
クラミジア肺炎										1	1	2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）						0	54	3	38	107	98	300	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。